

事業報告

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

1. 株式会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及び成果

全般的概況

当事業年度における道内の小売動向は、外国人観光客の増加や雇用・所得環境の改善等により全体として緩やかな回復基調で推移しましたが、個人消費は実質賃金の伸び悩みや節約志向の高まりから足踏み感が見られ、総じて力強さを欠く状況が続きました。

このような情勢の下、当社では重要な経営課題として、S Cの魅力アップ、安心安全対策の推進、暫定利用地開発の検討ならびにキーテナント変更に伴う連携強化などを掲げ、主要部門であるショッピングセンター(S C)事業をはじめ各事業部門において各種の施策を積極的に推進してまいりました。

S C魅力アップ策では、前年度から進めるデュオS Cのリニューアルについて、第1期工事であるデュオ1-5階飲食フロアを5月に全面オープンさせたほか、第2期工事のデュオ2-5階ヘルス&ビューティ・カルチャーゾーンの移転再編を10月に完成させました。安心安全対策では、サンピアザ耐震改修工事に係る実施設計を取りまとめるとともに、顧客満足度を高めるため自動扉設置等のバリアフリー工事や老朽化設備の更新工事を実施しました。暫定利用地開発関連では、札幌市の市営住宅G・I団地跡地再開発計画を踏まえ当社駐車場用地の開発方針の検討を進めるとともに、今後の連携に向け札幌市と協議を重ねました。また9月に新たにキーテナントとなったイオングループから示されたカテプリ棟大規模改装の意向を受け、相乗効果を図るため全館規模での大規模リニューアルの検討を行い、これら大型投資を見据えた中期3カ年事業計画の見直しを行いました。

上記の結果、当事業年度の業績は、売上高がS C事業、ホテル事業、水族館事業の増収により4,121百万円(対前年度比102.0%)と増加し、支出面では売上原価がリニューアル投資や電気料金再値上げの影響等により3,370百万円(同101.9%)と増加した一方、販売費一般管理費が販促費等の減少により抑制されたことから、経常利益は220百万円(同121.5%)、当期純利益は147百万円(同156.4%)を計上し、増収増益決算となりました。

(2) 財産及び損益の状況の推移

年度 項目	平成 24 年度 第 39 期	平成 25 年度 第 40 期	平成 26 年度 第 41 期	平成 27 年度 (当期)第 42 期
売上高(百万円)	4,063	4,142	4,042	4,121
経常利益(百万円)	310	357	181	220
当期純利益(百万円)	130	107	94	147
1株あたり当期純利益	74円87銭	61円82銭	54円14銭	84円51銭
総資産額(百万円)	25,807	25,298	25,725	25,213
純資産額(百万円)	11,278	11,386	11,878	12,217
1株あたり純資産額	6,482円17銭	6,544円03銭	6,826円89銭	7,021円76銭

(3) 重要な親会社及び子会社の状況

- ① 重要な親会社の状況
該当事項はありません。
- ② 重要な子会社の状況

会社名	資本金	議決権比率	主要な事業内容
アーク開発振興(株)	17,165 万円	46.60%	ビルメンテナンス受託業務他
(株)アークホテルシステム	2,000 万円	100.00%	ホテルの管理運営業務
(株)新さっぽろパーキングシステム	2,000 万円	100.00%	駐車場の管理業務

(4) 重要な企業結合等の状況

会社法施行規則第 120 条に規定する事業の譲渡、他の会社の事業の譲受及び株式その他の持分又は新株予約権の取得、吸収合併又は吸収分割による他法人等の事業に関する権利義務の承継等に該当する事項はありません。

(5) 主要な事業内容

- ① SC 事業
札幌副都心開発の一環として建設した SC3 棟（サンピアザ、デュオ 1、デュオ 2）の賃貸・管理・運営
- ② 関連事業
駐車場 5 ヶ所（サンピアザ、デュオ、北、東、南）、新札幌バスターミナル、サンピアザ水族館、新さっぽろデュオカルチャースクール、サンピアザ劇場等の管理・運営、その他付随する事業
- ③ ホテル事業
デュオ 1 ビル内に設置の都市型ホテル（新さっぽろアークシティホテル）の管理・運営
- ④ 土地賃貸事業
高層ホテルビル・オフィスビルに係る土地の賃貸事業

(6) 主要な事業所

名称	所在地	開設日
新さっぽろアークシティ「サンピアザ」SC	札幌市厚別区	昭和 52 年 6 月 10 日
新さっぽろアークシティ「デュオ 1」SC	札幌市厚別区	平成 2 年 6 月 1 日
新さっぽろアークシティ「デュオ 2」SC	札幌市厚別区	平成 4 年 6 月 5 日
新さっぽろアークシティホテル	札幌市厚別区	平成 2 年 6 月 6 日

2. 会社の株式に関する事項

(1) 株式数

- ① 発行する株式の総数 2,800,000 株
- ② 発行済み株式の総数 1,740,000 株

(2) 株主数

17 名

(3) 発行済み株式の総数の 10 分の 1 以上の株式を保有する株主を含む大株主の状況

大株主名	持株数	出資比率
札幌市	600,000 株	34.5%
株式会社日本政策投資銀行	340,000 株	19.5%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	160,000 株	9.2%
ノースパシフィック株式会社	153,000 株	8.8%
株式会社北洋銀行	87,000 株	5.0%
株式会社北海道銀行	80,000 株	4.6%
株式会社みずほ銀行	80,000 株	4.6%
北海道	60,000 株	3.4%
共栄火災海上保険株式会社	37,200 株	2.1%
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	30,840 株	1.8%
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	20,560 株	1.2%
東京海上日動火災保険株式会社	20,560 株	1.2%
三井住友海上火災保険株式会社	20,560 株	1.2%

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の氏名等（当年度末現在）

地位及び担当	氏名	重要な兼職の状況
代表取締役社長	高橋 稔	(株)新さっぽろパーキングシステム代表取締役社長
取締役副社長	佐藤 孝夫	アーク開発振興(株)代表取締役社長
専務取締役	井澤 睦雄	(株)アークホテルシステム代表取締役社長
取締役	川尻 寿彦	
取締役	西内 敦久	
取締役	荒木 啓文	札幌商工会議所専務理事
取締役	兼間 祐二	(株)北海道銀行執行役員札幌・石狩、空知地区営業担当
取締役	京谷 篤	札幌市都市局長
取締役	小林 良輔	(株)北洋銀行常務執行役員公務金融部長
取締役	松嶋 一重	(株)日本政策投資銀行北海道支店長
常勤監査役	木呂子真彦	
監査役	合月 宏	北海道瓦斯(株)常勤監査役
監査役	山田 範保	北海道電力(株)嘱託

4. 会計監査人の状況

(1) 会計監査人の名称

新日本有限責任監査法人

(2) 当該事業年度中に辞任又は解任された会計監査人に関する事項

該当事項はありません。

(3) 会計監査人が受けた過去2年間の業務の停止の処分に関する事項

当社の会計監査人は、平成27年12月22日、金融庁から、契約の新規の締結に関する業務の停止3カ月（平成28年1月1日から同年3月31日まで）の処分を受けました。

5. 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

(1) 内部統制システムの整備に関する基本方針について

当社は、平成18年6月8日開催の取締役会において、内部統制システムの整備に関する基本方針を決議しております。

(2) 業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要

当事業年度における業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要は以下のとおりであります。

①コンプライアンス

当社は、コンプライアンス行動基準および関連諸規程を定め、グループウェアで公開することにより社内に周知するとともに、集合研修による教育を毎年定期的且つ継続的に行うことにより、当社役職員のコンプライアンス意識向上に努めております。

また、コンプライアンス基本規程およびコンプライアンス推進委員会規程に基づき、代表取締役社長を委員長とするコンプライアンス推進委員会を当事業年度において年2回開催し、内部通報および相談状況の把握のほか、各部門のコンプライアンス管理責任者からのコンプライアンス抵触懸念事象の聞き取り、調査分析、再発防止策の協議等を行っております。

さらに、内部通報制度規程に基づき、コンプライアンス推進委員会ラインと社外顧問弁護士ラインの二つの通報・相談体制を運用し、問題の予防および早期発見に努めております。

②監査役の監査

当社の監査役は、定期的開催される監査役会ならびに取締役会に出席するとともに、会計監査人との定例的な意見交換を実施しております。常勤監査役においては常勤役員会、役員幹部会、部課長会議、コンプライアンス推進委員会等の重要な会議に出席するとともに、代表取締役社長との定例的な意見交換を行い、業務執行の状況を把握することで監査の実効性の確保を図っております。また監査の実効性の向上のため、平成18年8月から監査役の職務を補助する人員を3名配置しております。

③内部監査

内部監査を担当する総務部において、内部監査規程に基づき内部監査計画を策定し、計画に基づき内部監査を実施いたしました。監査結果は被監査部門に通知され、不適合事項については是正措置がとられております。

以上